

(TRANSLATION)

Ref. 15084111 Dispatch No. 714705 Mailing Date: October 27, 2009

NOTICE OF REASON FOR REJECTION

Patent Application No. 2003-413721

Drafted Date: October 23, 2009

Patent Office Examiner: Nari NAKASHIMA

Attorneys of the Applicant: Kazunobu SERA (Other 3 person)

Applied Provisions of Patent Law: Article 29, Paragraph 2

Article 29-2

Article 36

This application is to be rejected by the following reason.
If the applicant has any arguments, such arguments should be filed within 60 days from the mailing date of this Notice.

REASON

<Reason 1>

abbrev.

<Reason 2>

abbrev.

<Reason 3>

The inventions claimed by the below-listed claims of this application are unpatentable under Article 29-2, of Patent Law, as the inventions are identical with inventions disclosed in the description, scope of claims or drawings originally attached to the written application of another application for a patent which has been filed prior to the date of filing of the said patent application and published after the filing of the said patent application, and the inventors of this application are not the same as those who did the above-mentioned invention concerning the patent application before that application, and at the time of the filing of the said patent application, the applicants of the said patent application and the applicant of the other application for a patent are not the same person.

- claim 1, 2
- the cited references 1
- Remarks

Also in the multi-degree-of-freedom bending mechanism written in the original specification of the patent application shown as the reference 1, the link and the actuator being connected directly, so the reference 1 discloses that the link and the actuator are capable connecting each other, and a connection part of the link and the actuator is equivalent to "the first joint portion" of claim 1 (for example, see claim 3).

((Although some inventors of this application and the above-mentioned patent application overlap, note that all inventors of them are not "the same".) (see the patent and utility model examination standard II §3-2.5 (2))

<Reason 4>

The inventions claimed by the below-listed claims of this application are unpatentable under Article 29, Paragraph 2, of Patent Law, as the inventions could have been easily made by a person of ordinary skill in this art prior to the filing of this application based on the inventions described in the below-listed publications which were distributed, or inventions made available to the public through electric telecommunication lines, in Japan or elsewhere, prior to the filing of this application.

- claim 1, 3-6
- the cited references 2-5
- Remarks

The "flexible shaft 122" which bends and curves in the reference 2 by transmitting the torque to the drive elements 130a and 130b by the drive of the motor with which the handle 102 was equipped, and the point which enabled attachment and detachment of "the handle 102" are indicated.

The technology of bending a shaft by the link and a driving force development method to generate linear driving force here is common knowledge (for example, see the cited references 3 and 4).

Moreover, a method to combine the two members by elastic binding with a proper convex portion and concave portion enabling free

attachment and detachment is the technology generally used commonly.

It is well-known as combining the method and long member which generate linear driving force by the same technology, enabling free attachment and detachment is also indicated by the reference 5 (see the ball 720 and the socket 724 shown in Fig. 15 and 16).

Then, a person ordinarily skilled in the art of the invention would have been able to easily make the invention concerning the above mentioned claims, to apply the above mentioned common knowledge art to the invention referred to the reference 2, in consideration of the art indicated by the conventional art or the above-mentioned reference 5.

List of cited references etc.

1. Japanese patent application No. 2002-320931
(Japanese patent laid-open publication No. 2004-154877)
2. Japanese patent domestic laid-open publication No. 2003-523255
3. Japanese patent laid-open publication No. SHO 61(1986)-293796
4. Japanese patent laid-open publication No. SHO 60(1985)-114491
5. Japanese patent domestic laid-open publication No. 2001-505810

abbrev.

整理番号:1508411 発送番号:714705 発送日:平成21年10月27日 1

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2003-413721
起案日 平成21年10月23日
特許庁審査官 中島 成 9243 3100
特許出願人代理人 世良 和信(外 3名) 様
適用条文 第29条第2項、第29条の2、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

(1) 請求項3には、「駆動力の伝達方向に対してほぼ垂直な方向に付勢する」「弾性体」との記載があるが、当該「弾性体」による「付勢」とは、何を付勢するものであるのか明確でない。(請求項4及び6にも同様の記載があるが、これらの請求項の記載では、付勢力を及ぼす対象が明確である。)

(2) 請求項5には、「上記屈曲動作部材と上記アクチュエータとの接合後に、上記第1の連結部と上記第2の連結部との連結動作が実行されるように構成されている」と記載されているが、このような作用のみを特定する記載からは具体的な構成が不明であり、また、この記載からは接合と連結動作との時系列的関係も不明である。(上記記載は、接合により連結動作が行われているようにも解釈される。明細書の段落【0042】～【0043】に記載されたような動作を行うことを意図しているのであれば、当該動作を明確に記載すると共に、当該動作が可能な機構が特定される程度に明確に記載する必要がある。)

請求項5を引用する請求項6についても同様である。

よって、請求項3、5及び6に係る発明は明確でない。

2. この出願は、発明の詳細な説明の記載が下記の点で、特許法第36条第4項

整理番号:1508411 発送番号:714705 発送日:平成21年10月27日 2

第1号に規定する要件を満たしていない。

記

上記理由「1.」(2)で示した点に関連し、仮に請求項5の上記記載が明細書段落【0042】～【0043】に記載されたような動作を意図していたとしても、発明の詳細な説明からは、なぜそのような動作をさせる必要があるのか(例えば、接合と同時に連結動作が行われる場合との効果の差異)等の技術的意義が記載されていないため、発明を正確に理解することができない。

請求項5を引用する請求項6についても同様である。

よって、この出願の発明の詳細な説明は、請求項5及び6に係る発明について、経済産業省令で定めるところにより記載されたものではない。

3. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願の日前の特許出願であって、その出願後に出願公開がされた下記の特許出願の願書に最初に添付された明細書、特許請求の範囲又は図面(以下「当初明細書等」という。)に記載された発明と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許出願に係る上記の発明をした者と同一ではなく、またこの出願の時において、その出願人が上記特許出願の出願人と同一でもないので、特許法第29条の2の規定により、特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 2
- ・引用文献等 1
- ・備考

引用文献等1として示した特許出願の当初明細書等に記載された多自由度屈曲機構においても、リンクとアクチュエータは直接連結されていることから(例えば請求項3の記載参照)、当然「連結可能に構成されている」ものであり、その連結部位は「第1の連結部」に相当するものである。

(なお、この出願と上記特許出願の複数の発明者は一部重複するものの、「同一」ではない点にも留意されたい。(特許・実用新案審査基準第II部第3章2.5(2)参照))

4. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野に

整理番号:1508411 発送番号:714705 発送日:平成21年10月27日 3

おける通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 3-6
- ・引用文献等 2-5
- ・備考

引用文献2には、ハンドル102に備えたモータの駆動により駆動要素130a及び130bにトルクを伝達することで曲折かつ湾曲する「可撓性シャフト122」と、「ハンドル102」とを、着脱可能にした点が記載されている。

ここで、リンクと、直線的な駆動力を発生する駆動力発生手段とにより、シャフトを湾曲させる技術は周知であり（例えば、引用文献等3, 4参照）、また、適宜の凸部と凹部との弾性的結合により、二部材を着脱自在に結合する手段は一般的に慣用された技術であると共に、同様な技術により直線的な駆動力を発生する手段と長尺部材を着脱自在に結合することも引用文献5に開示されているとおり公知である（例えば、図15, 16等に表示されたボール720とソケット724を参照）。

してみれば、引用文献2に記載された発明に、上記周知技術を適用すると共に、慣用技術又は上記引用文献5に開示された技術を考慮し、この出願の上記各請求項に係る発明のような構成とすることは、当業者が容易に想到し得たことである。

引用文献等一覧

1. 特願2002-320931号（特開2004-154877号）
2. 特表2003-523255号公報
3. 特開昭61-293796号公報
4. 特開昭60-114491号公報
5. 特表2001-505810号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC A61B19/00

・先行技術文献 特開2001-258830号公報
特開平6-320473号公報
特開昭61-236493号公報
(いずれも各種屈曲動作部材を開示するもの。)

整理番号:1508411 発送番号:714705 発送日:平成21年10月27日 4/E

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせがございましたら、以下までご連絡ください。

特許審査第二部 福祉・サービス機器（治療機器） 中島 成（なかしまなり）

TEL. 03 (3581) 1101 内線 3346

FAX. 03 (3501) 0672